

4. 推進方策

(1) 推進体制

市民・事業者・行政・関係団体等が連携を図ることにより、都心軸空間デザインプランを推進し、人々の多様なライフスタイルの実現を目指します。



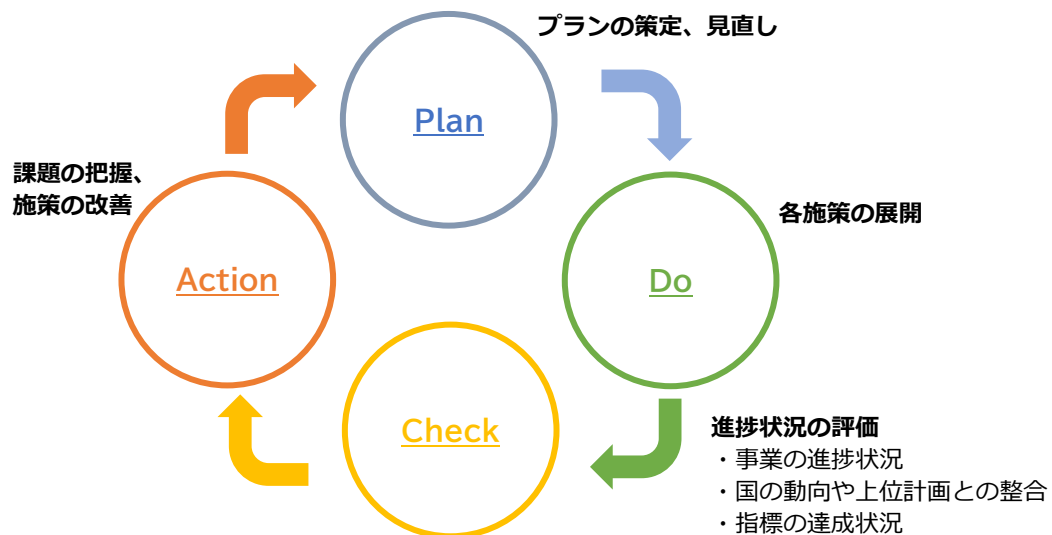
(2) 推進のステップ

都心軸の形成に向けて、順次施策を展開していきます。

	短期(1～5年)	中期(6～10年)	長期(10年～)
土地利用	商業・業務拠点にふさわしい機能誘導		
	低未利用地の利活用		
	公共空間の利活用		
	用途地域の見直しによるエリアの特性強化		
交通	駐車場施策の展開		
	新たな交通手段の導入		
景観	公共空間の景観形成		
	沿道建物の景観誘導		

(3) プランの進行管理

毎年度、周南市都市再生推進協議会もしくは周南市都市再生推進協議会専門委員会に本プランの進捗状況等を報告するとともに、施策の進捗状況を評価（Check）し、施策の改善（Action）を実施し、必要に応じて施策及び本プランの見直しを行います。



<本プランの指標（周南市立地適正化計画）>

評価指標	現状値 (基準年度)	目標値 (目標年度)	対基準年
歩行者等通行量（徳山） ※5カ所 10～19時	10,953人 (平成27(2015)年度)	11,000人 (令和17(2035)年度)	100.4%